

## 4 工夫と連携で 産業が躍動するまち

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	農業委員会運営事業		予	会計	一般会計	01
部 課	経済建設部 農業委員会	局長名	松本 仁志	算	款	農林水産業費
連絡先	889-4163		科	項	農業費	01
目 標	工夫と連携で産業が躍動するまち		目	目	農業委員会費	01

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	農業委員、農業者	農地法に基づく許可申請、届出書等の審査及び農地利用状況の調査等を行い、農地利用の適正化を図ります。又、農業者年金事業を通じて老後生活の安定等を図り、農業の担い手の確保に繋がります。

事業の実施内容		予算額	決算額
	・ 農業委員報酬	4,606千円	4,454千円
	・ 農地利用最適化推進委員報酬	2,000千円	1,998千円
	・ 会計年度任用職員報酬/期末手当	1,934千円	1,933千円
	・ 旅費(費用弁償)	345千円	270千円
	・ その他(消耗品費等)	175千円	131千円
	・ 委託料	654千円	654千円
	・ 負担金、補助及び交付金	81千円	53千円
	合 計	9,795千円	9,493千円

○農地法に基づく「許可申請」及び「届出」の状況

- ・3条申請( 9件)    ・4条申請( 4件)    ・5条申請( 42件)
- ・3条届出( 15件)    ・4条届出( 11件)    ・5条届出( 43件)



▲ 農業委員会総会



▲ 現場確認・農地パトロール

事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農地の耕作放棄地解消取組において、遊休農地取組の促進強化と解消の推進を図りました。</li> <li>・農業者の老後生活の安定、福祉向上のために農業者年金の加入促進に関する研修や広報活動を実施しました。</li> </ul>					
-------	--	--	--	--	--	--

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	9,795	9,493		1,934		260	7,299

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	地力増強対策事業	予	会計	一般会計	01
部 課	経済建設部 産業振興課	算	款	農林水産業費	06
連絡先	889-4163	科	項	農業費	01
目 標	工夫と連携で産業が躍動するまち	目	目	農業振興費	03

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	農家	土づくり用堆肥の購入費補助をすることで農家の負担を軽減するとともに、土地に栄養を与え、作物を育てる力を強くします。

○地力増強対策事業 予算額 3,000 千円 決算 2,508 千円

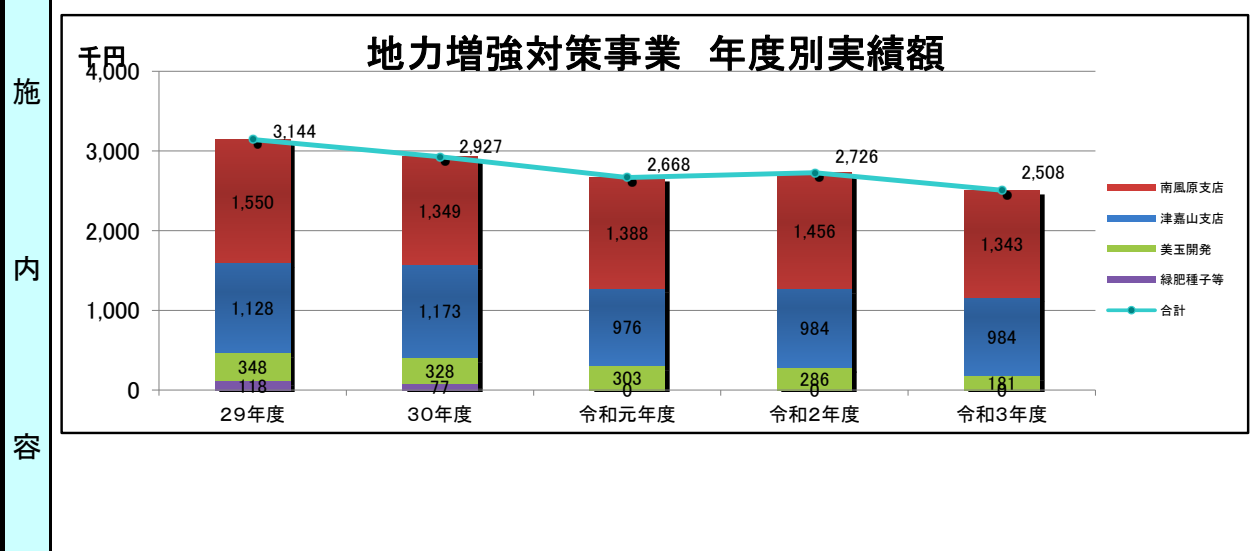
補助基準  
・堆肥購入一袋(15kg)に対し50円の補助

☆土づくり奨励補助金  
決算 2,507 千円

(内訳)  
50,152 袋 × 50 円 = 2,507,600 円

千円 R3土づくり奨励補助金 年間推移

月	南風原支店	津嘉山支店	美玉開発
4月	50	20	10
5月	40	15	10
6月	50	20	10
7月	40	15	10
8月	60	30	10
9月	100	50	10
10月	150	100	10
11月	200	350	10
12月	150	200	10
1月	50	20	10
2月	40	15	10
3月	50	20	10



農作物を作る上で土づくりは大変重要なものであり、堆肥の購入補助は農家の負担を軽減し、圃場の地力増強も図られ、秀品率の向上につなげることができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	3,000	2,508	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
							2,508

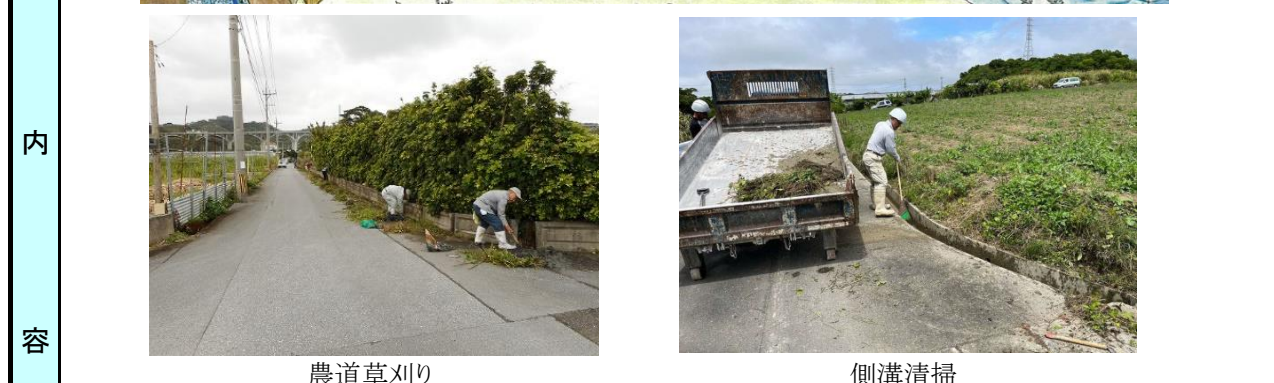
令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	多面的機能支払交付金	予	会計	一般会計	01
部 課	経済建設部 まちづくり振興課	算	款	農林水産業費	06
連絡先	889-4412	科	項	農業費	01
目標	工夫と連携で産業が躍動するまち	目	目	農地費	05

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	宮城地域資源保全の会 山川地域資源保全の会 神里地域資源保全の会	地域共同で行う農地等の維持管理に補助を行い地域活性化を図る。(多面的機能を支える農業者や地域住民、団体等で活動する組織への補助金)

事業内容	・多面的機能支払交付金(事業期間:平成29年度~令和3年度) 補助事業 総事業費:7,177千円		
	◆令和3年度 予算額:980千円 決算額:979千円		
	需用費	64千円	64千円
	備品購入費	22千円	22千円
	使用料及び賃借料	85千円	84千円
	負担金、補助金及び交付金	809千円	809千円
			宮城:287千円 山川:280千円 神里:242千円



事業の成果  
水路や農道の補修及び草刈り、清掃等を行い、農地等の維持管理ができました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	980	979		668			311

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	住宅リフォーム支援事業	予	会計	一般会計	01
部 課	経済建設部 まちづくり振興課	算	款	商工費	07
連絡先	889-4412	科	項	商工費	01
目 標	工夫と連携で産業が躍動するまち	目	目	商工振興費	01

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	住宅リフォームを行う町民(自己所有住宅を町内の施工業者を利用してリフォームした場合)	町民の住宅の質の向上を図るため、住宅リフォーム(対象:省エネ、耐久性向上、バリアフリー改修工事、テレワーク推進改修工事)を行う町民の負担軽減を図ります。

住宅リフォーム支援事業補助金 【 予算額 1,419千円 決算額 1,418千円 】

・工事費補助金 予算額 1,415千円 決算額 1,415千円  
(主な内訳)

工 種	件数	金額(千円)
省エネ改修工事 (屋根・天井・壁等断熱工事)	7	1,217
住宅の耐久性改修工事 (柱・はり等主要構造部の剥離したコンクリートの除去及び改修等)	(4)	0
バリアフリー改修工事 (通路側の拡幅・段差の解消等)	1	198
合 計	8	1,415

※(4)件は、省エネ改修と同時施行

・通信運搬費 予算額 4千円 決算額 3千円

業  
の  
実  
施  
内  
容

【リフォーム例】



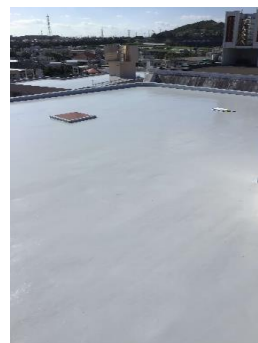
バリアフリー改修工事(浴室入口段差解消) 施工前



バリアフリー改修工事(浴室入口段差解消) 施工後



省エネ改修工事(屋根断熱) 施工前



省エネ工事(屋根断熱) 施工後

事業の成果  
住宅リフォームを行う町民に補助金を交付することにより、工事費の経済的負担を軽減し、町民の住宅の質の向上に繋がりました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,419	1,418	636	389			393

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	商工会の育成強化		予	会計	一般会計	01	
部 課	経済建設部 産業振興課	課長名	松本 仁志	算	商工費	07	
連絡先	889-4430		科	商工費	01		
目 標	工夫と連携で産業が躍動するまち		目	商工振興費	01		
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	南風原町商工会		地域商工業、中小企業・小規模企業の経済活動を促進し、商工業の健全な発展を図り、それにより地域産業振興と安定、地域経済の発展に資することを目的とします。				
事業の実施内容	○南風原町商工会補助金 予算額 6,804千円 決算額 6,804千円						
	○事業実績						
	◆経営改善普及事業						
	①経営指導員による指導件数						
	巡回指導 335件		窓口指導 1,298件		創業指導 40件		
	②講習会等の開催						
		経営革新	経営一般	情報化	金融	税務	労働
	集団	—	4回	—	—	2回	—
	個別	—	—	—	—	11回	—
	③金融の斡旋						
	融資種類	斡旋件数	貸付件数	斡旋総額	貸付総額		
	沖縄振興開発金融公庫	19件	14件	192,700千円	124,500千円		
	県融資制度	9件	6件	86,220千円	47,530千円		
④事務の代行							
		委託事業所数	従業員数				
	労働保険等	73事業所	256人				
⑤記帳継続指導							
		員数	雇用延日数	指導延日数	対象事業者数	うち機械化数	
	記帳専任	1人	107	144	118	14	
※うち機械化数はネットde記帳利用者数							
⑥各種共済加入状況			⑦講習会、相談会の開催				
		加入者数	加入口数		開催回数	7	
	小規模企業共済	105人	—		参加事業所(延べ)	177	
	中小企業セーフティー共済	54人	—				
	中小企業退職金共済	147人	—				
	商工貯蓄共済	—	117口				
	商工会福祉共済	—	41口				
◆地域総合振興事業							
・要請活動、視察研修、ルンレンはえばるフェスタ							
事業の成果	南風原町商工会に補助金を交付し、指導・協力体制の強化を図るとともに、町内企業の育成、経営安定と振興、起業支援、労働者管理改善等を図った結果、地域経済の発展に貢献することができました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	6,804	6,804	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
						6,804	

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	商品開発・技術力強化事業	予	会計	一般会計	01
部 課	経済建設部 産業振興課	算	款	商工費	07
連絡先	889-4430	科	項	商工費	01
目 標	工夫と連携で産業が躍動するまち	目	目	商工振興費	01

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	南風原町商工会	地域資源の活用や異業種連携による商品開発、ブランド化を図り、販路開拓を行います。

**■事業概要**  
 「南風原町の地域ブランド」及び「特産品の認証制度」について協議を行う「南風原町地域ブランド推進委員会」及び「南風原町地域ブランド認定商品選定委員会」を組織し、両委員会から推薦される特産品やご当地グルメをPRすることで、地域の魅力を広く認知させます。また、地域資源の活用や異業種間連携等による商品開発および企業との連携によって消費者のニーズを踏まえたデザイン性・機能性に優れた南風原らしい特産品や、多くの人々に愛されるご当地グルメの開発を行い、産業展開することを目的としています。

**■町独自の商品開発・技術力強化事業の実施状況**  
 本年度は「食」部門、「非食」部門に分かれて異業種間連携の取り組みを行いました。また、町内事業者を対象にワークショップやセミナーを開催し、商品開発を行う際の考え方、ブランディングデザインやSNS活用等に関する知識習得を図りました。その結果、優れた特産品の証である「はえばる良品」に9品が認定されました。

- ・南風原町地域連携強化事業として、異業種交流を主題として商品開発事業を行いました。
- ・南風原町地域ブランド認証事業にて「はえばる良品」9品を認定。
- ・地域連携強化育成事業PR・マーケティング事業として県内6回の出展を実施。
- ・県内新聞(沖縄タイムス、琉球新報)等へのPR記事の掲載15回
- ・はえばる良品公式ホームページ、公式SNSの運用。

▼令和3年度『はえばる良品』認定商品



- 南風原町地域ブランド推進委員会(委員7名)
- ・第1回会議 : 委嘱状交付式、令和2年度事業報告、令和3年度事業計画について等
  - ・第2回会議 : 活動報告、「はえばる良品」の募集、「はえばる良品」ロゴの活用について等
  - ・第3回会議 : 活動報告、令和3年度「はえばる良品」の選定結果、今後の展開について等
  - ・第4回会議 : 事業報告、次年度の事業計画(案)について等

次ページへつづく →

事業の実施内容

○商品開発ワークショップ  
町内事業者を対象に新商品の開発、ブランディングデザイン、既存商品のブラッシュアップなどに関する個別ワークショップを5回、6次化推進に関するワークショップを1回開催しました。

○販路開拓セミナー  
「売れる商品づくり」には、出口(販売先)を想定することが重要と考え、県内のバイヤーを招聘し、バイヤーが求めている商品などの講話を聞くとともに、個別の商品及び事業者について評価をしてもらい、具体的な改善策などの意見を聴取しました。また、食品検査機関の職員やWEBプランナーを招聘し、食品表示やHACCP導入、SNSの基礎や特徴などに関するセミナーを開催しました。

○出展実績 県内催事全6回出展。  
 ・8/23～30 : デパートリウボウ 参加事業者:2  
 ・10/23 : 第24回商工会特産品フェア「ありんくりん市」 参加事業者:1  
 ・11/13～14 : テスト販売:イオン南風原店 参加事業者:4  
 ・12/4～5 : テスト販売:JAおきなわ くがに市場 参加事業者:4  
 ・12/11 : テスト販売:ハッピーモア市場トピカル店 参加事業者:5  
 ・2/5～6 : 「ルンルン！！はえばるフェスタ」 参加事業者:12

○その他  
本町は、名古屋グランパスのキャンプ地であることから名古屋グランパスと中日ドラゴンズとのコラボ商品の開発を行いました。新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、黄金森公園陸上競技場でのコラボ商品の販売は中止となりましたが、クラブグランパスや中日ドラゴンズのキャンプ地のAgreスタジアム北谷や中日ドラゴンズオンラインショップで販売を行いました。



沖縄子育て良品(株)  
紅型グランパスくんお守り



瑞泉酒造(株)  
泡盛と紅茶リキュール



yu-I FACTORY  
ハブキーフック

今年度は、商品開発のワークショップや県内バイヤーを招聘したセミナーなどを開催しました。本事業で実施した異業種間連携の取り組みにより、町内事業者のコラボ商品開発が行えたことや販路開拓セミナーの講師として招聘したバイヤーから直接催事への出展依頼が来るなど、本町や本町の特産品の魅力の発信及び町内事業者の商品開発、販路開拓に寄与しました。

予算の 執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	14,993	14,377		11,501			2,876



令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	地域消費促進事業		予	会計	一般会計	01
部 課	経済建設部 産業振興課	課長名	松本 仁志	算	款	商工費
連絡先	889-4430		科	項	商工費	01
目 標	工夫と連携で産業が躍動するまち		目	目	商工振興費	01

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町内事業所への支援策として町民に対しプレミアム商品券を発行、無償配付する。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、長期間休業をよぎなくされた事業所及び減収となった事業所等を支援するため、プレミアム商品券を発行し、地域消費促進を図ります。

事業内容	<p>○プレミアム商品券(第3弾)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町民1人に1冊(額面3,000円の商品券を無償配付)</li> <li>引換期間 : 令和3年7月19日～令和3年12月28日</li> <li>利用期間 : 令和3年7月19日～令和3年12月31日</li> <li>引換実績 : 36,490冊×(500円券×6枚)=109,470,000円 引換率 : 90.3%(36,490冊/40,417冊)</li> <li>利用実績 : 217,586枚×500円=108,793,000円 換金率 : 99.4%(217,586枚/218,940枚)</li> </ul>																						
	<table border="0"> <tr> <td>消耗品費</td> <td>予算額</td> <td>21 千円</td> <td>決算額</td> <td>21 千円</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費(引換券はがき)</td> <td>予算額</td> <td>1,005 千円</td> <td>決算額</td> <td>1,003 千円</td> </tr> <tr> <td>委託料(はがき印刷)</td> <td>予算額</td> <td>990 千円</td> <td>決算額</td> <td>441 千円</td> </tr> <tr> <td>商品券事業補助金</td> <td>予算額</td> <td>139,312 千円</td> <td>決算額</td> <td>123,207 千円</td> </tr> </table>	消耗品費	予算額	21 千円	決算額	21 千円	通信運搬費(引換券はがき)	予算額	1,005 千円	決算額	1,003 千円	委託料(はがき印刷)	予算額	990 千円	決算額	441 千円	商品券事業補助金	予算額	139,312 千円	決算額	123,207 千円		
消耗品費	予算額	21 千円	決算額	21 千円																			
通信運搬費(引換券はがき)	予算額	1,005 千円	決算額	1,003 千円																			
委託料(はがき印刷)	予算額	990 千円	決算額	441 千円																			
商品券事業補助金	予算額	139,312 千円	決算額	123,207 千円																			



実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>業 種</th> <th>利用枚数</th> <th>利用金額</th> <th>構成比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小 売 業</td> <td>193,338枚</td> <td>96,669,000円</td> <td>88.9%</td> </tr> <tr> <td>飲 食 業</td> <td>23,413枚</td> <td>11,706,500円</td> <td>10.8%</td> </tr> <tr> <td>サービス業</td> <td>658枚</td> <td>329,000円</td> <td>0.3%</td> </tr> <tr> <td>旅客運送業</td> <td>177枚</td> <td>88,500円</td> <td>0.1%</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>217,586枚</td> <td>108,793,000円</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table>				業 種	利用枚数	利用金額	構成比	小 売 業	193,338枚	96,669,000円	88.9%	飲 食 業	23,413枚	11,706,500円	10.8%	サービス業	658枚	329,000円	0.3%	旅客運送業	177枚	88,500円	0.1%	合 計	217,586枚	108,793,000円	100.0%
	業 種	利用枚数	利用金額	構成比																								
	小 売 業	193,338枚	96,669,000円	88.9%																								
	飲 食 業	23,413枚	11,706,500円	10.8%																								
	サービス業	658枚	329,000円	0.3%																								
	旅客運送業	177枚	88,500円	0.1%																								
合 計	217,586枚	108,793,000円	100.0%																									

事業の成果	<p>プレミアム付商品券を発行・無償配付したことで、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、長期間休業をよぎなくされた事業所及び減収となった事業所を支援することができました。</p>					
-------	---	--	--	--	--	--

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	141,328	124,671	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
			118,433				6,238

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	地域産業支援事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	経済建設部 産業振興課	課長名	松本 仁志	算	款	商工費	07
連絡先	889-4430		科	項	商工費	01	
目 標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	目	商工振興費
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減収となった町内に事業所を有する事業者		新型コロナウイルス感染拡大による影響を受け減収となった町内事業所の事業継続意欲を維持するための支援が必要であることから、支援金を支給することで事業の継続を応援します。				
事業の実施内容	【緊急事態宣言に伴う地域産業支援金】※繰越明許費						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>負担金、補助及び交付金 予算額 40,000千円 決算額 40,000千円</li> <li>通信運搬費 予算額 40千円 決算額 36千円</li> <li>消耗品費 予算額 60千円 決算額 60千円</li> </ul> <p>・事業概要：令和2年12月1日現在、本町に事業所を有し、今後も事業継続する予定の中小企業及び個人事業主であり、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年1月又は令和3年2月の売上が、令和2年4月から令和2年12月の間の任意の1ヶ月と比較し、20%以上減少した者に一律10万円を支給します。</p> <p>・実施期間：令和3年4月1日から令和3年9月30日まで</p> <p>・支給実績：受付件数 415件 交付件数 400件</p> <p>・支給事業者の減収状況 減収率50%未満 : 185事業者 減収率50%以上 : 215事業者</p>	<p>-----</p> <p>【緊急事態宣言延長に伴う地域産業支援金】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>負担金、補助及び交付金 予算額 41,600千円 決算額 41,600千円</li> <li>通信運搬費 予算額 60千円 決算額 59千円</li> <li>消耗品費 予算額 63千円 決算額 6千円</li> </ul> <p>・事業概要：令和2年12月1日現在、本町に事業所を有し、今後も事業継続する予定の中小企業及び個人事業主であり、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年4月から令和3年9月の任意の1ヶ月の売上が、令和2年4月から令和2年12月の間の任意の1ヶ月と比較し、20%以上減少した者に一律10万円を支給します。</p> <p>・実施期間：令和3年10月5日から令和4年2月4日まで</p> <p>・支給実績：受付件数 418件 交付件数 416件</p> <p>・支給事業者の減収状況 減収率50%未満 : 146事業者 減収率50%以上 : 270事業者</p>					
事業の成果	令和3年度は、2回【地域産業支援金事業】を実施し、833件の申請があり、816件に支援金を交付し、町内事業者を支援することができました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	81,823	81,761	77,800			3,961	

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	観光事業		予	会計	一般会計	01	
部 課	経済建設部 産業振興課	課長名	松本 仁志	算	款	商工費	07
連絡先	889-4430		科	項	商工費	01	
目 標	工夫と連携で産業が躍動するまち		目	目	観光費	02	
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)				
	町民・観光客		観光振興を効率的に進めるために、観光協会の機能を強化していきます。さらには市町村の枠組みを越えた広域観光を志向していきます。				
事業の実施内容	○観光振興に必要な通信費や消耗品 ・主な用途 はえるんの管理用品、イベント等の消耗品等		予算額	15千円	決算額	15千円	
	○印刷製本費(観光大使の名刺作成)		予算額	22千円	決算額	22千円	
	○イメージキャラクター修繕料		予算額	897千円	決算額	896千円	
	○シマじまガイド事業 着地型観光メニューとして「シマじまガイド(町内名所巡り)」を実施、本町の観光まちづくりを推進する観光協会に委託しています。 「シマじまガイド」では、訪問客に地元の魅力をあますところなく伝えようと、まち歩きコースを策定し、参加しやすさ、定時出発をキーワードに南風原町内に広く展開していきます。		予算額	10,516千円	決算額	7,964千円	
	○陸軍病院壕公開活用事業 県内外から訪れる多くの人々に平和、命について考えてもらう施設として公開活用の取り組みを行い、観光協会に壕のガイドの委託を行っています。		予算額	4,994千円	決算額	1,605千円	
	○備品購入費		予算額	81千円	決算額	81千円	
	○沖縄観光コンベンションビューロー負担金		予算額	150千円	決算額	150千円	
○南風原町観光協会補助金 本町の観光まちづくりや観光振興を推進するため、一般社団法人南風原町観光協会が実施する事業に要する経費を補助金として交付、観光施設の運営や観光宣伝、カンナの花をはじめとする花いっぱい運動、夏まつりキッズパーク、綱曳ツアーなど多彩な活動を行っています。 町観光協会は、自然や歴史、文化遺産を資源とし、それらを活用したさまざまな事業を通じて、自らが住むまちへの関心や認識を深めて郷土愛を育み、地域の活性化に寄与することを目的に観光情報の発信などの事業を展開しています。		予算額	12,392千円	決算額	12,392千円		
 <p>観光大使委嘱式</p>		 <p>【映えばるいちおし】フォトコンテスト作品展</p>					
事業の成果	地域の観光資源の開発や活用を町民参加で行うことにより、本町に対する誇りや愛着を増すことができます。まつりやイベントを通して、地域住民におもてなしの心を育み、コミュニティの結びつきが強まります。観光誘客により、本町の知名度が向上するとともに、地域の活性化に貢献できると考えておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベント開催等の事業の中止や縮小が相次ぐなか、映えばるいちおしフォトコンテストを開催するなど、町内外に観光情報の発信をすることができました。						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
	29,067	23,125	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
				7,577			15,548

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	観光PR促進事業	予	会計	一般会計	01
部 課	経済建設部 産業振興課	算	款	商工費	07
連絡先	889-4430	科	項	商工費	01
目 標	工夫と連携で産業が躍動するまち	目	目	観光費	02

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	町民・観光客	南風原町のイメージキャラクターを観光PRツールとして有効活用し、各種イベントや、マスメディアへの出演のほか町内外においてPR活動をしていきます。

○南風原町イメージキャラクター「はえるん」の活用  
 予算額 4,287 千円 決算額 3,799 千円

南風原町のキャラクター「はえるん」を各種イベントやメディアへの出演をはじめ、観光施設や町民交流スポットなど、町内各所におけるPR活動により観光誘客を促進すると共に、「はえるん」関連グッズの活用促進と、PRキャラクターによる地域活性化を図ります。



ひまわり畑紹介



SNSひなまつり企画



ストレリチア出荷報告式



サッカー教室

各種イベントやマスメディアへの出演など、町内外におけるPR活動により観光誘客を促進しました。地域活性化を図るためには、町民と行政が一体となって観光まちづくりに取り組んでいく必要があります。親しみやすいイメージキャラクターを活用することでPR効果を期待できますが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により町内外のイベント中止が相次ぎ、例年よりイベント等への出演回数が減少しました。対応策として、出演要請を待つだけでなく、自らイベントを企画・実施し、SNS上でのプレゼント企画等を実施しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,287	3,799		3,038			761

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	黄金森公園スポーツ施設活性化事業		予	会計	一般会計	01		
部 課	教育部 教育総務課	課長名	比嘉 純子	算	款	教育費	10	
連絡先	889-2620		科	項	保健体育費	06		
目 標	工夫と連携で産業が躍動するまち				目	目	保健体育総務費	01
事業の目的	対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)					
	町民・町外・社会体育団体		良好なスポーツ・トレーニング環境の提供により、環境と結びつけたスポーツコンベンションの誘致、開催を図る					
事業内容	<p>○黄金森公園陸上競技場及び野球場の芝生整備を実施することにより、名古屋グランパス春季サッカーキャンプ、日本陸上競技連盟合宿、県外実業団・大学等の陸上合宿を誘致しました。また、良好なスポーツキャンプ施設整備のため、トレーニング機器、陸上競技用備品を整備しました。</p> <p>・令和3年度予算及び決算額</p> <p>委託費(黄金森公園芝生管理) (予算額:14,988千円 決算額: 14,988千円)                      備品購入費(陸上競技等備品) (予算額: 2,613千円 決算額: 1,569千円)</p>							
	  <p>【名古屋グランパス春季キャンプの様子 1/24~2/9】</p>		  <p>【小学校での栄養講座(オンライン)】      【キッズレポーターによる取材活動】</p>					
実施内容	  <p>【整備したスポーツキャンプ備品】</p>							
	<p>黄金森公園陸上競技場・野球場の年間を通じた芝生整備を実施することで、名古屋グランパスの春季サッカーキャンプや日本陸上競技連盟合宿や実業団・大学陸上部の合宿など721人の利用者を誘致することができました。名古屋グランパスキャンプや日本陸上競技代表合宿の際には様々な子供達を対象とした連携事業を実施することができました。</p>							
事業の成果	予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
		17,611	16,557		13,245			3,312

令和3年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	琉球絣等伝統工芸事業	予算	会計	一般会計	01
部 課	経済建設部 産業振興課	課長名	松本 仁志	款	商工費
連絡先	889-4430			項	商工費
目 標	工夫と連携で産業が躍動するまち			目	商工振興費

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	琉球絣事業協同組合など	南風原町の特産品である琉球絣・南風原花織の振興を図り、地域経済の発展に寄与することを目的とします。

事業の  
実  
施  
内  
容

○琉球絣・南風原花織後継者育成事業補助金 予算額 380千円 決算額 380千円  
 ・琉球絣事業協同組合が開催する後継者育成事業に対し補助金を交付しました。  
 ※この事業には国、県からも補助があり、琉球絣事業協同組合も負担しました。



琉球絣・南風原花織 後継者育成事業閉校式



研修生作品



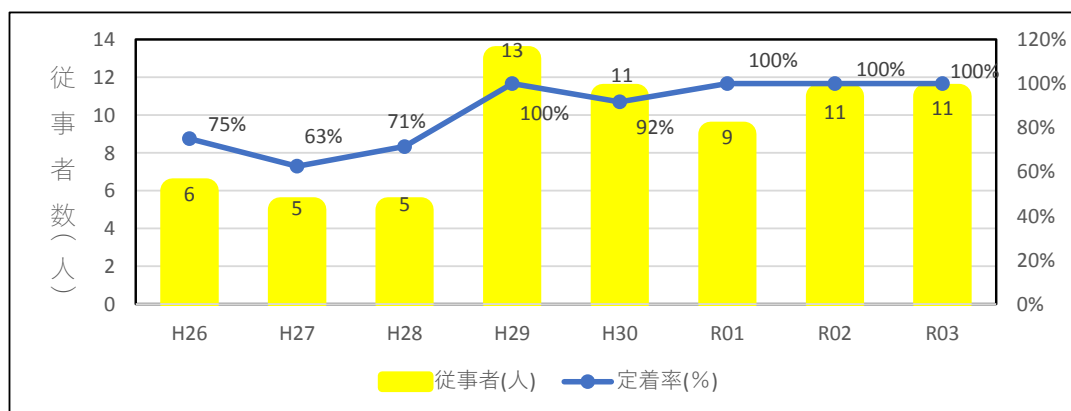
研修内容 : 機織りを中心に、染色、括りを行いました。研修終了後は各工房の元で琉球絣・南風原花織の生産に携わっていきます。

\*括り(くくり):糸束を糸でしめること。染まらない部分を作り織り上げることで様々な柄を表現する技法

平成29年に南風原花織が国の伝統的工芸品に指定され、振興計画に基づく後継者育成事業を琉球絣と合わせて行っています。

受講者数及び修了後従事者数の推移

	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	合計
修了者	8	8	7	13	12	9	11	11	79
従事者	6	5	5	13	11	9	11	11	71
定着率	75%	63%	71%	100%	92%	100%	100%	100%	90%



○琉球絣事業協同組合への補助金 予算額 3,081千円 決算額 3,081千円  
 ・琉球絣事業協同組合が行う、研修派遣、販路開拓、宣伝活動、展示即売等の経費に対して補助金を交付しました。

次ページへつづく →

事業の実施内容

○琉球絣事業協同組合貸付金 予算額 15,000千円 決算額 15,000千円  
 ・琉球絣事業協同組合は、国、県、町の補助金と組合員の会費でその運営を行っていますが、その補助金等が入ってくるまでの運用資金(生産者への製品である反物代金等)として資金の貸付を行いました。

○その他

・琉球かすりの女王報酬等	予算額	342千円	決算額	163千円
・かすり会館樹木伐採業務	予算額	492千円	決算額	488千円
・かすり会館消防用設備修繕	予算額	198千円	決算額	198千円
・伝統工芸ふれあい広場事業負担金	予算額	221千円	決算額	221千円
・(財)伝統的工芸品産業振興協会	予算額	50千円	決算額	50千円



県外での展示会(実演)

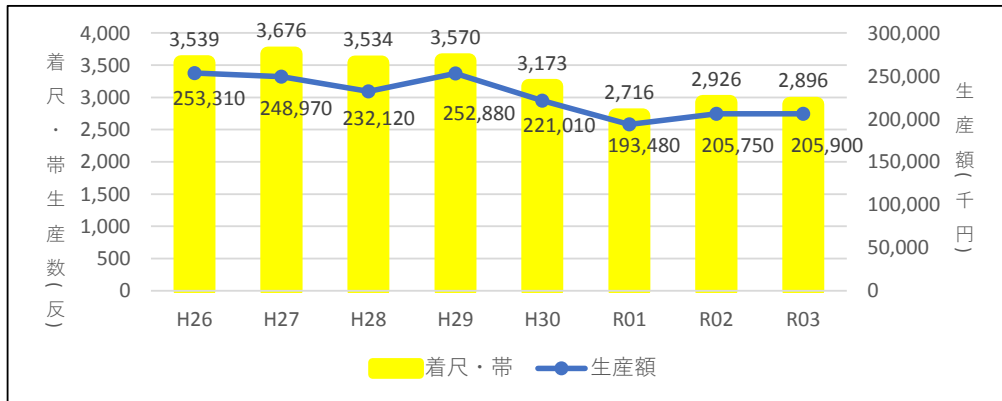


かすりの女王 イベントでのPR活動

琉球絣・南風原花織の生産高及び生産額の推移 単位:反・本、千円

	H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03
着尺・帯	3,539	3,676	3,534	3,570	3,173	2,716	2,926	2,896
生産額	253,310	248,970	232,120	252,880	221,010	193,480	205,750	205,900
対前年比	-	-1.71%	-6.8%	8.9%	-12.6%	-12.5%	6.3%	0.1%

\*着尺(きじゃく):長着(着物)一枚を作るのに必要な幅と長さを備えた生地のこと



事業の成果

後継者育成事業の修了者は引き続き各事業所の織りの担い手となり、かすり生産高安定に寄与することができました。また、かすりの生産においては受注生産が減少し、以前として生産環境は厳しい面がありますが、補助や貸付を行うことによって、琉球絣の振興を図り、地域経済の発展に寄与することができました。

第32代絣の女王においては、イベントにて琉球絣のPR活動を行いました。今後も琉球絣、南風原花織の産地として地域の発展と地場産業の育成をおこなって参ります。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	19,764	19,581					19,581